

報道関係者各位

2026年10月9日
株式会社ワークスアプリケーションズ**森永乳業が「HUEデジタルインボイス」でPeppolによる実取引を開始
TKCとの異なるサービス間連携を実現、Peppol対応取引先の拡大へ**

株式会社ワークスアプリケーションズ(本社:東京都千代田区、代表取締役CEO:秦 修、以下 WAP)は、森永乳業株式会社(以下 森永乳業)が、WAPの「HUEデジタルインボイス」を活用し、株式会社TKC(以下 TKC)との実取引において、国際標準規格「Peppol(ペポル)」によるデジタルインボイスの送受信を開始したことをお知らせします。今回、TKCが「インボイス・マネジャー2026」を通じて発行したPeppol形式のデジタルインボイスを、森永乳業が「HUEデジタルインボイス」で受領・保存し、後続の経理処理に活用しています。本取り組みは、異なるサービスを利用する企業間でも、Peppolを通じて請求書の発行から受領、保存、業務活用までをデジタルでつなげられることを実取引で示したものです。

かがやく“笑顔”のために
森永乳業**【背景】**

企業間取引における請求書のデジタル化が進む一方、紙やPDFを前提とした業務運用も依然として残っています。特に多数の取引先を持つ大手企業では、請求書の発行・受領に利用するサービスやデータ形式が異なることが、業務全体のデジタル化を進めるうえでの課題となっています。森永乳業は、請求書受領業務のペーパーレス化と経理業務の効率化に向け、2024年10月から「HUEデジタルインボイス」を導入し、一部の取引先との間でPeppolによるデジタルインボイスの受領を開始しています。

【取り組みの概要】

TKCとWAPは、デジタルインボイス推進協議会(EIPA)の幹事法人として、Peppolを活用したデジタルインボイスの普及に取り組んでいます。今回の実取引では、以下のプロセスをデジタルで実施しています。

- ・TKCが「インボイス・マネジャー2026」でデジタルインボイスを発行
- ・Peppolのアクセスポイントを経由し、Peppolネットワークを通じて森永乳業へ送信
- ・森永乳業が「HUEデジタルインボイス」で受領・保存
- ・受領データを会計処理などの後続業務に活用

【今後の展望】

森永乳業は、Peppol対応取引先との接続拡大を進め、請求書業務の効率化とバックオフィス改革を推進します。TKCとWAPは、それぞれのサービスを通じてデジタルインボイスの発行・受領を支援し、異なるサービス間での相互接続を促進します。3社は、今回の実取引で得られた知見を生かし、Peppol対応取引先のさらなる拡大と、これから対応を検討する企業への支援を進めます。

【ワークスアプリケーションズについて】

ワークスアプリケーションズは、1996年に日本発のERPパッケージベンダーとして創業。ノーカスタマイズや無償バージョンアップなど革新的なソリューションで、国内大手企業を中心にお客様の成長を支援してきました。個が持つ可能性を信じ、企業と個の価値を最大化する「成長エンジン」となることを目指し、「作業」を「創造」に変え、「仕事」を楽しくすることを追求していきます。

株式会社ワークスアプリケーションズ サイト <https://www.worksap.co.jp/>

*会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

*本リリースに掲載された内容は発表日現在のものであり、予告なく変更または撤回される場合があります。また、本リリースに掲載された予測や将来の見通しなどに関する情報は不確実なものであり、実際に生じる結果と異なる場合がありますので、予めご了承ください。

■本件に関するお問い合わせ先

TEL:03-3512-1400 FAX:03-3512-1401 Email:pr@worksap.co.jp

株式会社ワークスアプリケーションズ 広報担当